

パリ 2024 パラリンピックに向けての決意表明

男子チーム ヘッドコーチ
工藤 力也

男子チームは東京 2020 パラリンピックに開催国枠としてパラリンピック初出場をし、準々決勝で中国に敗れ 5 位という結果で大会を終えました。

以降、『パリ 2024 パラリンピックで金メダル獲得』という目標を掲げ、個人及びチームの強化に取り組んできました。

その結果、2023 IBSA World Games にて優勝し、当協会発足の 1994 年以來の悲願であった自力でのパラリンピック出場権獲得を成し遂げることができました。

今大会には、東京大会を経験し世界レベルの競技力を有する 4 名の選手と、東京大会後に成長した伸び盛りの 2 名の選手で金メダル獲得に挑みます。

男子チームの強みは、6 名の選手全員がチームの勝利に貢献するための役割があり、1 試合の中でバトンをつなぎチームの総合力で予選リーグを突破し、重要な決勝トーナメントに備えられることです。

また、チームを支えるスタッフ陣も多くの国際大会を経験し、各分野のプロフェッショナルへと成長しています。

金メダル獲得に向けてのライバルとなるのは、ブラジル(東京大会:金メダル)と中国(東京大会:銀メダル)です。

そして、どの国と対戦する際にも重要なポイントは、『我慢する場面を乗り越え、流れを掴んだらなさないこと』と『これまでやってきたことに自信を持ち、失敗を恐れず挑戦すること』です。

皆様からのご支援ご声援、そしてこれまで 30 年にわたり日本でのゴールボールの歴史を紡いできてくださった皆様のおかげで、最強のオリオンJAPAN男子チームで大舞台に挑むことができます。

この感謝の気持ちは『勝利』という目標に向けひたむきに戦う姿と結果で恩返しします。皆様からの応援が何よりの原動力となりますので、応援の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。